

6年生の保護者の皆様

摂津市立鳥飼東小学校
学 力 向 上 担 当

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果と考察

1.学力調査の結果と考察

	令和3年度 全国 平均正答率	令和3年度 大阪府 平均正答率	令和3年度 摂津市 平均正答率	令和3年度 学校 平均正答率	令和3年 度学校 対全国比	令和元年 度学校 対全国比	令和元年 度対全国 比との差
国語	64.7%	63%	64%				
算数	70.2%	70%	67%				

※保護者配付用のみに全ての数値を入れています。

【国語】

今年度は、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約するという問題（大問2）の正答率が、20%と低い。無回答率も5.7%と高い。内容の読み取りの選択問題はできているが、条件を与えられて書く思考・判断・表現の能力を問われる要約文ができていない。

また、目的に応じて、文章と図表などを結びつけて内容の中心となる事柄を見つけ、自分の考えが伝えられるように、段落構成を考えて書く問題（大問3）の正答率が43.6%と低い。やはりここでも、思考・判断・表現の能力を問われる問題が弱いとわかった。

要約は4年、要旨は5年で履修する難しい課題である。授業の中で1・2回取り組んだだけでは習得までいけない。6年生までに習得するためには何度も取り組む必要がある。教材学習以外で、単元ごとに1時間程度の演習問題を解いて解説する時間や宿題の工夫、朝学習など、年間を通じての習熟への取り組みが必要である。そのほか、4年で履修している「つみかさね＝積み重ね」など、文章の中で使われている読みを漢字に直す問題が、全国的にも正答率54.5%と低い。

漢字・文法については繰り返し学習が必要であるが、日頃、該当学年の漢字の履修だけで終わっていないか再考し、宿題の工夫をすると共に、家庭学習でも繰り返し復習として取り組んでほしい。そのために家庭学習週間では、「自主学習ノート」の取組を強化し、五中校区の小学校間で交換掲示を予定している。

【算数】

特に「図形」の面積を求める問題（大問2）の正答率が、22.9%と低い。三角形の公式が四角形÷2から考えられるという求め方について理解していない。また、図形の性質を使って、平行四辺形の面積を求める問題についても、全国平均と30%ほど差がある。この問題は、図形の理解を記述式で問われており、自分の考えを説明する力（書く力）をつけていく必要がある。

統計的な問題解決の方法を用いた考察問題（大問3）では、帯グラフから、割合のちがいが大きい項目を選び、その項目と割合を書く問題の無回答率が高い。設定された問題に対して、どのようなデータを集め、考察し、求めればよいのか考えられていない。

算数は、習得した知識・技能を、活用する思考・判断・表現の力を鍛えていく必要がある。

【学力向上の今後の取り組み】

- ・学年配当漢字の履修をなるべく早めに終わり、習熟度をあげる、くり返し学習を行う。作文やふり返りの中で、漢字の使用を意識させるようにしていく。
- ・宿題の見直しを行う。特に文章問題や、記述を求められる問題については、算数も国語も朝学習で取り組み、その後、履修した問題や似た問題を宿題にしていく。
- ・校内独自で計算力診断テスト（毎学期実施）を行い、1学期の結果と比較し、個別にサポートする。テストの結果については、個人懇談で保護者にも伝え、冬休みの学習を相談する。

2. 学習状況調査の結果と考察

以下の項目は、摂津市教育委員会が重点と捉えているものである。市の重点調査項目（7観点10項目）において、自尊感情（自己肯定感）、将来への夢や希望、豊かな人間性、キャリア、学びに向かう姿勢の5観点7項目が市平均を超えるよい結果となっている。子どもたちが、前向きにものごとをとらえ、学校生活に向き合っている様子がうかがえる。

特に4年時からの課題であった「いじめ問題」については、97.4%の児童が、「いじめは、どんな理由があってもいけない。」と回答している。市の平均と比べても16%上回っている。これまで、非行防止教室、弁護士の出前授業、人権集会など、力を入れて取り組んできたことも良い結果につながっている。倫理観として理解できていても、実際の学校生活では、完全に「いじめ問題」が、ゼロというわけではないところが課題ではあるが、「いじめは、どんな理由があってもいけない。」ということを理解できていることは、「いじめ」をなくすことへの大きな一歩であると考えている。

市の平均を下回った観点項目は、学習習慣&読書量とICTの活用である。特に、学習習慣の項目(授業時間外での勉強時間)の1日当たり全くしない～30分以内という割合が、33.3%と市の平均より約10%高い。また、読書時間(全く読まない～30分以内)が48.7%という結果。家庭での学習時間を、少しずつ意識して増やしていけるよう、自主学習の取組を進めていきたいと考えている。

観点	質問 番号	内容	R3 全国平均	R3 市平均	R3 学校	R3 対全国比
感情 自尊	6	自分にはよいところがあると思う、と答えた児童の割合（選択肢1と2の合計）	76.9%	68.6%	69.2%	0.90
リ ア キャ	7	将来の夢や目標をもっている、と答えた児童の割合（選択肢1と2の合計）	80.3%	75.4%	76.9%	0.96
豊かな人間性	11	いじめは、どんな理由があってもいけない、と答えた児童の割合（選択肢1強い肯定の割合）	84.1%	81.4%	97.4%	1.16
	12	人の役に立つ人間になりたい、と答えた児童の割合（選択肢1の強い肯定の割合）	75.4%	72.9%	74.9%	0.99
読書量 学習習慣&	18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの勉強時間が30分より少ない、全くしないという児童の割合（選択肢5と6の合計）	13.0%	24.2%	33.3%	2.56
	21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの読書時間が30分より少ない、全くしないという児童の割合（選択肢5と6の合計）	38.7%	51.3%	48.7%	1.26
リ ア キャ	25	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある、と答えた児童の割合（選択肢1と2の合計）	52.4%	47.0%	48.6%	0.93
活用 ICT	26	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをほぼ毎日、週1回以上使用した、と答えた児童の割合（選択肢1と2の合計）	39.0%	50.0%	30.8%	0.79
向かう姿 学びに	33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと答えた児童の割合（選択肢1と2の合計）	78.2%	76.2%	84.6%	1.08
	37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている、と答えた児童の割合（選択肢1と2の割合）	78.8%	70.9%	71.8%	0.91